



果樹園（ナシ、リンゴ等）へのカメムシ類の 飛来に注意しましょう！

写真1 チャバネアオカメムシ成虫

茨城県病害虫防除所では、チャバネアオカメムシ成虫の越冬量調査（平年より多い）と、かすみがうら市、笠間市の果樹園内に設置した予察灯への総誘殺数（平年より多い）などから、5月10日付けで病害虫発生予察注意報第1号を発表し、果樹園内への飛来について注意喚起しています。

詳細は

<https://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/nosose/byobo/boujosidou/yosatsujoho/documents/tyuuihour6-1.pdf> を参照願います。

写真2 カメムシによる被害
(写真1, 2: 病害虫防除所)

防除対策

- ① 多目的防災網（目合い6mm または9mm クロス等のネット）はカメムシ類の園内への侵入を防ぐため、被害軽減に有効である。
- ② カメムシ類は夜温が高くなると活動が活発になり、果樹園に飛来する。果樹園内でカメムシ類を確認した場合は、表1を参考に活動の鈍い早朝に薬剤防除を行う。
- ③ 有機リン系（表1：分類1B）およびピレスロイド系薬剤（表1：分類3A）は、カメムシ類に対して効果が高いが、天敵類に及ぼす影響も大きく、ハダニ類やカイガラムシ類の多発生を招くおそれがあるので注意する。
- ④ カメムシ類の発生時期や発生量は地域や圃場によって大きく異なるため、定期的に圃場全体を観察し、早期発見と薬剤による初期防除を徹底する。

表1 果樹カメムシ類の主な防除薬剤

(令和6年5月15日現在)

薬 剤 名	ナシ	カキ	ブドウ 注1	リンゴ	分類 注2
スミチオン水和剤 40	無袋：800～1,000 倍 21 日前まで／6 回以内 有袋：800～1,000 倍 14 日前まで／6 回以内	800～1,000 倍 30 日前まで／3 回以内		800～1,000 倍 30 日前まで／3 回以内 (リンゴの旭種とその近縁種では被害が発生のおそれがある)	1B
キラップフロアブル		2,000 倍 7 日前まで／2 回以内		2,000 倍 14 日前まで／2 回以内	2B
スカウトフロアブル	1,500 倍 前日まで／5 回以内	1,500 倍 7 日前まで／5 回以内		1,500～2,000 倍 前日まで／5 回以内	3A
テルスターフロアブル	3,000～6,000 倍 前日まで／2 回以内	3,000～6,000 倍 3 日前まで／2 回以内		3,000 倍 前日まで／1 回	
ロディー水和剤	1,000 倍 前日まで／2 回以内	1,500 倍 7 日前まで／3 回以内		1,000～1,500 倍 前日まで／2 回以内	
アクタラ顆粒水溶剤	2,000 倍 前日まで／3 回以内	2,000 倍 3 日前まで／3 回以内		2,000 倍 7 日前まで／2 回以内	4A
スタークル顆粒水溶剤	2,000 倍 前日まで／3 回以内	2,000 倍 前日まで／3 回以内	2,000 倍 前日まで／3 回以内	2,000 倍 前日まで／3 回以内	
ダントツ水溶剤	2,000～4,000 倍 前日まで／3 回以内	2,000～4,000 倍 7 日前まで／3 回以内	2,000～4,000 倍 前日まで／3 回以内	2,000～4,000 倍 前日まで／3 回以内	
バリアード顆粒水和剤	2,000 倍 前日まで／3 回以内			2,000 倍 前日まで／3 回以内	
テッパン液剤 注3	2,000 倍 前日まで／2 回以内	2,000 倍 前日まで／2 回以内	2,000 倍 前日まで／2 回以内	2,000 倍 前日まで／2 回以内	28

注1) ブドウでは、果粉溶脱の恐れがありますので、薬剤使用上の注意事項などを必ず確認してください。

注2) 分類欄には、IRAC コードを記載しました。同一分類（コード）は作用点が同じなので、連用は避けてください。

注3) テッパン液剤は、多発生時に使用する場合、効果が劣ることがあるので注意する。

■ 農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。

■ 営農 NEWS は JA 全農いばらきホームページでもご覧になれます。

農機営農支援部 営農支援課

電話：029-291-1012 FAX：029-291-1040